

石神中学校だより17号

発行日：令和5年1月12日

2022重点目標「自ら学び、共に高め合いながら夢の実現のために努力する生徒」文責：校長 佐藤恭司

第31回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト 東北大会予選南東北大会金賞サンリツ賞受賞!

令和4年12月26日に仙台市宮城野区文化センターにおいて、本校2年生武田好誠さんが、同大会で楽器ユーフォニアムを演奏し、見事金賞サンリツ賞（1位）を受賞しました。本大会は、吹奏楽演奏者の日頃の演奏技術力及び音楽表現力をコンテストの場を通して評価し、吹奏楽活動に自信と誇りを与え、さらに自己啓発を促し、吹奏楽活動の向上発展をはかることも目的としています。武田さんは、「コンテストでは緊張することなく、日頃の練習の成果を発揮して、最後まで吹き通すことができました。今後は2月に仙台で行われる東北大会金賞、そして全国大会出場を目標に練習に励みたいです。」と話していました。さらなる活躍を期待します。金賞サンリツ賞受賞おめでとうございます！演奏曲は、P・スパーク作曲「英国の賛美歌による変奏曲」です。



コンテストの様子



金賞サンリツ賞受賞の武田さん

学校評議員会・いじめ問題対策連絡協議会の開催

12月19日、第2回学校評議員会が行われました。現在進められているバリアフリー化・EV設置工事の進捗状況見学や授業参観を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大の中、本校の感染症対策（消毒液設置、換気、マスク着用、SSSの消毒作業、外部者の検温機設置等）や学校評価に関するアンケート結果、学校経営に関する評価など、学校評議員の皆さんからご意見やご助言をいただきました。2学期の行事の取組から成果と課題を踏まえ、今後の学校運営の改善に繋がる話題もありました。学校評議員会に先立ち、いじめ問題対策連絡協議会も行われました。いじめアンケートやQU検査結果などの説明や冬休み懸念される生徒指導なども話題になりました。

＜学校評議員＞ 平成12年1月の学校教育法施行規則の改正により、地域住民の学校運営への参画の仕組みを制度的に位置付けるものとして学校評議員制度が導入され、平成12年4月から実施されています。学校評議員とは、学校運営に関して意見を述べる人員のことである。地域社会に開かれた学校づくりを一層推進していくため、保護者や地域住民などの相互の意思疎通や協力関係を高めるために設けられました。



租税教室を開催! <3年生>

12月16日、税理士の佐藤達雄氏を講師に招き、3年生社会(公民)の授業において、租税教室を行いました。国民生活や経済社会と密接に関連する税は、私たちの暮らしや社会に欠かせない多様な公共サービスを提供する国や地方公共団体の活動の財源であり、国の様々な制度の中でも根幹的なものです。社会や国を支える税の意義や役割を深く理解し、税を通して社会や国の在り方について考える租税教育は、極めて重要なことであると考えます。3年生一人一人が税の意味や仕組みを知る貴重な学びになったようです。



地区出没、野生の“猿”に注意を!

12月9日、本校体育館屋上など校地内に猿が出没しました。これまで、本校北側の緑地帯で猿を追い払う花火の音が聞かれていましたが、いよいよ本校敷地内にも現れるようになりました。生徒らには、猿に近づかないこと、校舎内に侵入しないように窓開閉に気をつけること、餌を与えないことなどの注意をしました。中学校付近でなる爆竹音について、石神生涯学習センター佐藤所長さんに聞きました。「猿が畑の作物をあらし、民家の敷地内に入るようになってきた。猿の軍団は3グループある。大原から、高倉、石神は、Cグループ。講習を受けた地元の方が、猿の情報から、猿が出没している場所に向かい、花火に火をつけて追い払っている。猿の目の前で花火がなると逃げるが、慣れてくると戻ってくる」そうです。くれぐれも猿に注意をしましょう。



体育館屋上でくつろぐ猿

～ねがい～ 「鬼は外、福は内」

暦の上で冬と春の季節を分ける「節分」が二月三日です。皆さんの家では「節分」に豆まきをしていますか。「鬼は外、福は内」のかけ声で豆をまく風習は、古く室町時代から行われていたといわれています。鬼に豆をぶつけることで邪気を追い払い、一年の無病無災を願う気持ちが込められています。私が子どもの頃、節分の夜には兄と二人で、まず玄関や廊下に「鬼は外、福は内」と豆をまき、その後で縁側から外に向かって大声で豆をまくよう親に言われたものです。まき終わった後で家の隅々から年の数だけ拾って食べるのが楽しみでした。近所の家々から子どもたちのかけ声が聞こえたものです。最近は、全く聞こえなくなりましたが、「豆まき」の習慣がなくなってしまったのでしょうか。少し寂しい気持ちがします。大人になって思うのですが、豆をぶつけて追い出したのは家の中にある鬼だけでなく、自分自身の心の中にある鬼も追い出していたのではないのでしょうか。勉強や家のお手伝いをさぼろうとする鬼、友達に意地悪をしようとする鬼、嘘をついて言い逃れしようとする鬼、そんな内面の邪気を追い出して、今年も正しく生きようとする気持ちを大切にさせるために親は子どもに豆まきをさせていたのかもしれないね。「節分」の翌日は「立春」。春の足音が遠くから聞こえてきます。まだまだ、寒い日が続きますが、今年「節分」には豆まきをしてみませんか。自分自身の内なる鬼を追い払い、間もなくやってくる本当の春には、大きな福を招くことができるように願いたいものです。



高校入試情報② 3学期に入ると高校入試に伴う面接指導が始まります。志望の動機や高校生活の目標など多岐にわたり、答え方の練習が行われます。言葉遣いや姿勢、服装なども同様に指導を受けます。これは、どこの中学校でも行われます。実際、数回の面接指導を経験すると、別人のように成長の跡が見られます。面接を担当している中で、“自分の言葉”で答えられないと、深い質問をされた場合、答えられないという場面も見られるので、しっかりと自分の考えをまとめておくことが大切です。日頃から、正しい言葉遣い・身なりを意識しましょう。